



下大和田谷津田だより

2004年11月号



第57回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

10月2日 雨

雨の中の観察会になりました。大雨になるとの予報もあって参加は私一人でした。ヤナギタデなどの水田雑草は花盛り、かと思うとチョウジタデ、コブナグサなど、すっかり色づいて秋の色を濃くしていました。夏草は実りのときヌスビトハギなどさまざまな形をした種子が見られました。冷たい雨のためか鳥や虫はほとんど見られませんでした。スズメだけが成群でおだに掛けた稲の穂を食べていました。

開花植物：ヨモギ、カントウヨメナ、ノコンギク、ヒメジョオン、ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギク、セイタカアワダチソウ、ダンドボロギク、メナモミ、タカサブロウ、シロノセンダングサ、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、タウコギ、タイアザミ、ノゲシ、アキノノゲシ、スズメウリ、オオバコ、キツネノマゴ、キクモ、ハッカ、ヒメジソ、キバナアキギリ、ヤマハッカ、クズ、オッタチカタバミ、タネツケバナ、アキカラマツ、ヒナタイノコズチ、ヒカゲイノコズチ、ヤナギイノコズチ、ミゾソバ、オオミゾソバ、イヌタデ、ヤナギタデ、カナムグラ、カゼクサ、アシ、オヒシバ、チカラシバ、アキノエノコログサ、スズメノヒエ、シマスズメノヒエ、メヒシバ、イヌビエ、チジミザサ、オギ、コブナグサ、ジュズダマ、コナギ、ツユクサ（白花も）、イボクサ、トチカガミ、オモダカ、ヒメクグ、オオハナワラビ（孢子）。

昆虫：ヤマトシジミ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、オンブバッタ。

野鳥ほか：スズメ。

(参加者：大人1人、報告：網代春男)

第41回谷津田プレラント・プロジェクト(YPP) 収穫祭&谷津田運動会

10月16日 曇り



まず、谷津田の様子を観察しながらゴミ拾いをしました。台風で洗い出されてあちこちゴミだらけ。大きなゴミが放棄田に平然と捨てられてるのにはがっかりでした。古代米は順調に生育していますが、スズメの成群が気がかりでした。今年6月に行われたちば環境情報センターの研修会で、「谷津田で運動会をやる！」というアイデアが出され、今回の収穫祭で行われました。お椀で汲んだ小川の水をグループごとに手渡しリレーして、早くペットボトルを一杯にするレースでは、水をこぼさないようにみんな真剣。盛んに声援が飛んでいました。丸太切り競争は個人で時間を競う種目。大人も子どもも一生懸命にのこぎりを引いていました（左写真）。恒例の屋台では焼き鳥、焼き魚、焼き芋、豚汁とお腹も満足。午後はウルトラクイズで盛り上がりました。一通り終わった後、アケビ採りに行き、大きなアケビやたくさんのお栗を見つけてみんなとても満足でした。肌寒い陽気でしたが、心も体も暖まる一日でした。

(参加者：大人37人・小学生10人・乳幼児4人、報告：高山邦明)

下大和田季節のたより

10月7日 台風や長雨の影響ですっかり遅れていた脱穀がようやくできました。でも乾燥が足りないため、モミすりができず、困っています。

台風地震と天災続きですが、皆さんの周りはいかがですか？夏の暑さはお米の生育に良かったのですが、その分秋雨の季節が遅れ、オダがけした稲の乾燥が一向に進まなかったため、収穫祭に新米が間に合いませんでした。また、例年になくスズメの数が多く、古代米はスズメの栄養になったのが多かったようです。台風の影響で千葉の畑も大きな打撃を受けたようですが、これからはどうでしょうか？

高山邦明